

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011函第14号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年5月14日 06時43分ごろ	
発生場所	北海道留萌市留萌港南防波堤灯台から真方位057° 1,330m付近 (概位 北緯43° 58.2′ 東経141° 38.6′)	
事故等調査の経過	平成23年5月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{シヤン トン} XIANG TONG9（カンボジア王国籍）、2,797トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 9532123（IMO番号）、XIANGTONG INTERNATIONAL LIMITED</p> <p>乗組員等に関する情報 船長（中華人民共和国）、外国免状</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 本船 左舷船尾外板に破口を伴う凹損 岸壁 車止め等に損傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか13人が乗り組み、留萌港第4区三泊1号岸壁にヘッドライン2本、前部スプリングライン2本、後部スプリングライン1本及びスターンライン2本をとり、船首を東に向けて左舷着けで係留中、西風及び西方からの波浪により前部スプリングライン1本が切断したため、同索を取り直す作業を行っていたところ、更にスターンライン2本が切断し、船体が東方に圧流されるとともに残りの係留索も全て切断した。</p> <p>本船は、風浪に圧流されて左舷外板が岸壁に接触するとともに、東方に約200m流され、平成23年5月14日06時43分ごろ、留萌港内の浅所に船首を南西に向けた状態で乗り揚げた。</p> <p>本船は、自力で離礁して留萌港第1区北岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 6（最大瞬間風速約20m/s）</p> <p>海象：波向 西、波高 約3～4m</p> <p>特記事項：強風波浪注意報発表中</p>	
その他の事項	<p>本船は、荒天対策として前部スプリングラインを1本増やす措置をとっていた。</p> <p>一等航海士及び甲板員は、本事故当時、船橋当直中であつたことから、甲板長を加えた3人で切断した前部スプリングラインをとり直す作業を行っていた。</p> <p>本船が使用していた係留索は、使用開始から2年程度のものであつた。本事故当時、主機は停止していた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、留萌港第4区の三泊1号岸壁に左舷着けで係留中、最大瞬間風速20m/sの西風及び波浪を受けて係留索が全て切断したことから、留萌</p>

	港内の浅所に圧流されたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、留萌港第4区の三泊1号岸壁に左舷着けで係留中、最大瞬間風速20m/sの西風及び波浪を受けて係留索が全て切断したため、留萌港内の浅所に圧流されて乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。